

新年特別講演会・懇親会のご案内

船底防汚塗料は、船体への生物付着を防止する機能により、運航経時での船体抵抗の増加を抑え、効率的な船舶運航に寄与しています。国際海事機関(IMO)による有機スズ化合物を含有する船底防汚塗料を禁止する AFS 条約、地球温暖化ガスの排出量を国際海運から削減する為に、新造船で EEDI の評価を義務付ける MARPOL 条約付属書 VI の改正、船体付着による有害水生生物の移動を最小化する為のガイドライン等の各種法規制により、船底防汚塗料への要求性能や付随するサービスも大きく変遷しています。また、情報技術の進化による、船舶モニタリング技術の活用等も必要となっています。本講演会では、近年の船底防汚塗料に関わる国際規制の状況ならびに関連する塗料技術や解析技術等をご紹介します。講演会の後には懇親会も予定しておりますので、多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

記

日 時： 特別講演会 令和2年1月22日(水) 15:40~17:10

懇親会 令和2年1月22日(水) 17:30~19:30

会 場： 神戸クリスタルタワー3階クリスタルホール

(住 所) 神戸市中央区東川崎1丁目1-3 (JR 神戸駅海側すぐ)

*特別講演会、懇親会共に本会場にて開催いたします。

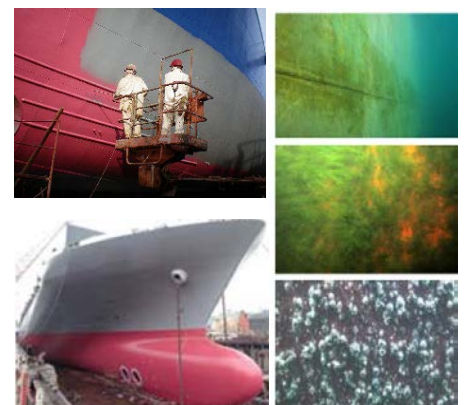
参加費： 講演会 無料

懇親会 一般 5,000 円、学生 2,000 円

講演題目： 最新船底防汚塗料の技術動向について

講 師： みえのひろひさ
三重野 紘央 氏 中国塗料株式会社 防汚技術部 防汚第一グループ 主事

有機スズ防汚剤を含有する船底防汚塗料を禁止する AFS 条約等により、各種防汚剤の使用は厳しく制限され、防汚剤の環境への放出量やインパクトを低減できる防汚塗料開発が求められています。一方、国際海運からの地球温暖化ガスの排出量を削減する為の MARPOL 条約付属書 VI の改正や、船体付着による有害水生生物の移動を最小化する為のガイドラインの策定等、船体への生物付着を抑え推進性能の悪化を防ぐとともに、生物の越境移動を防ぐことも必要になっています。本講演では防汚剤規制と防汚性能の両立に応える医薬品技術等を活用した防汚剤低減型や防汚剤フリー型の高性能防汚塗料技術や、情報技術を活用した船底防汚塗装仕様の提案手法、船体性能の可視化技術等についてご紹介します。



船底防汚塗料塗装

船体汚損の一例

申込締切： 令和2年1月10日(金)

問合せ先： 日本船舶海洋工学会関西支部事務局

TEL：06-6879-7593 FAX：06-6879-7594 携帯電話：070-1305-2902

E-mail：k.office@jasnaoe.or.jp